



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成26年9月30日



粉末消火器による消火訓練

組合では8月28日(木)に、第2回問屋町防災訓練を問屋町会館で実施した。青森市役所危機管理課の藤本氏と坪氏、日本赤十字社青森県支部の田澤氏を講師に招いて行われた同訓練には、組合員従業員42名が参加した。

はじめに、問屋町会館駐車場において消火器の基本操作等を説明。今回は実際に火を起こし、参加者から選抜された6名が粉末消火器による消

消火訓練や救命訓練を体験

第2回問屋町防災訓練

火訓練を行った。ほとんどの参加者が本物の消火器の噴射状況を見るのが初めてで、興味深く見学していた。

消火訓練後は2階大会議室に場所を移し、危機管理課の藤本氏が、阪神淡路大震災や東日本大震災時の事例を基に、地震への備えについて解説した。

つづいて、日本赤十字社の田澤氏による救命訓練を実施。AEDの現状と心肺蘇生法に



訓練用器具を使って心肺蘇生法体験

参加者からは「次回は他の社員も連れて来たい」「昨年度よりもさらに充実した内容になっていた」と、非常に好評であった。

組合では組合員企業の防災意識の高揚を図るため、来年度以降も引き続き防災訓練を開催していく予定である。



色とりどりの新鮮野菜や果物

問屋町ストア木曜日がスタート

問屋町会館内にある「問屋町ストア」で、8月21日より「問屋町ストア木曜日」がスタートした。

木曜日限定で旬の「とれたて産直野菜・果物」の販売をする木曜日。商品は青森観光りんご園とTOMATO工房アーリー提供によるもの。りんごや桃、トマトにきゅうり、なすなどの他、イタリ

ア野菜や中国野菜など、普段スーパーではなかなか目にすることができない。



完熟しても緑色のトマト「ミドリ」ちゃん



リサイクル品回収BOX

空き缶・ペットボトル回収ボックス設置

組合員従業員や近隣企業等から排出される空き缶やペットボトルを積極的に回収するため、問屋町会館西側出入口風除室内に「リサイクル品回収BOX」を新設した。

当取り組みの趣旨にご賛同いただき、空き缶・ペットボトル回収への協力をお願いする。

組合では今後、空き缶・ペットボトルのリサイクル個別回収及び回収ボックスにて得られた資源売却による収益については、新たな社会貢献活動として慈善団体に寄付することをとした。

平成26年度景観整備の実施計画の承認 第5回理事会

第5回理事会が8月22日(金)、問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは、問屋町ビジネススクールの平成26年度下期カリキュラムについて報告を行った。

主な案件審議は次のとおり。案件一、景観推進管理委員会からの意見について

問屋町地区における歩道グランドカバー実験事業の実施計画が承認された。

案件二、防犯カメラ設置検討特別委員会からの意見について

平成26年度税制改正について学ぶ 第1回税務研修会

青森税務署の谷地田審理専門官を講師に招いた、第1回税務研修会が8月8日(金)、問屋町会館で開かれた。

主な研修内容は次のとおり。▽復興特別法人税の1年前倒し廃止

平成24年4月1日から平成27年3月31日までの間に開始する各事業年度で課税するとされていた復興特別法人税について、課税期間が平成26年3月31日までとされ、1年短縮となった。

▽交際費の損金不算入制度の改正

①交際費の額のうち、飲食のために支出する費用の額の

案件三、組合員の合併の承認について

案件四、組合員施設の賃貸について

問屋町ビジネススクール 平成26年度下期開催講座公開

問屋町ビジネススクールの平成26年度下期開催講座が決定した。

今回、新たにラインナップに加わったのは、「会社の仕組みを知らうー経営シミュレーション研修」、「営業しない新規開拓」、「問題解決スキ

50%が損金の額に算入することが可能となった。

②中小企業等については、交際費の額の年800万円までの定額控除制度も延長されたため、上記①の制度とのいずれかの選択適用が可能となる。

③従前どおり1人当たり5,000円以下の飲食費については交際費に含まなくても良いとされている。

▽所得拡大促進税制の拡充・延長

①個人の所得水準の底上げ促進のため、これまでの制度がさらに2年間延長となり、また、制度要件も給与等の支給額の増加割合が緩和され、平均給与等支給額の算定方法についてもより適用しやすく見直しされた。

②制度要件を満たした場合、支給増加額の10%を法人税から控除できる。ただし、法人税額の10% (中小法人は20%) が限度となる。



吉見講師の研修風景

ル(魚の発見・調理術)研修」の3講座。

「経営シミュレーション研修」は、マネジメントゲームを通して会社の経営を疑似体験し、会計・財務スキルが身につく、利益の仕組みが学べ、会社を経営する上で必要な事

の大部分が理解できる内容となっている。

人気講師の日本営業ツール研究所の吉見代表と中小企業のIT化に特化したコンサルティングの専門家であるタクト情報システムズ(株)の田邊社長との対談形式で行われる「営業しない新規開拓」では、中小企業の顧客情報を活用した営業戦略を、事例を通して詳しく解説する。

「問題解決スキル(魚の発見・調理術)研修」では、座学と実戦が一体となった体験学習により問題解決能力と組織の力を引き出す能力が強化される。

その他、同スクールの根幹である中堅社員研修や新入社員

された受取金額が3万円未満のものは印紙税が非課税とされていたが、平成26年4月1日以降に作成された領収証等については、受取金額が5万円未満のものが非課税となった。

中小企業等が事業の用に供する30万円未満の減価償却資産について適用されていた損金算入制度の適用期限が2年延長された。

▽地方法人税の創設

法人税を納める義務がある法人は、法人税額に4.4%の税率を乗じて計算した地方法人税を法人税と同じ時期に申告・納付することとなった。

▽領収証等に係る印紙税の非課税範囲の変更

これまで、領収証等に記載

員研修をはじめ、会計経理講座やビジネスマナー研修なども引き続き開催する。詳しい講座内容やその他の開催講座は、問屋町ビジネススクールのホームページで公開している。

(http://business-school-tonyamachi.com/)



ビジネスマナー研修の研修風景

行った。

隊員の活躍により街路樹が美しく整備され、一段と景観が向上した。

同隊では、問屋町及び第二問屋町の残りの地域の街路樹下枝刈りや除草作業を予定しており、問屋町の美化推進のため活動を続ける。

街路樹下枝刈り

問屋町緑のボランティア隊

8月24日(日)、問屋町緑のボランティア隊による団地内美化活動が行われ、隊員とその家族24名が参加した。

今回は、問屋町幹線道路及び南側枝線道路の街路樹下枝刈りや、街路樹の除草作業を実施。まだまだ夏の暑さが残る中、隊員達は街路樹のみならず、歩道板の隙間から

伸びる雑草の刈取りも懸命に



緑のボランティア隊

家庭用ストーブから大規模施設暖房システムまで環境対応型総合暖房機器メーカー

SUNPOT サンポット株式会社

青森営業所 青森市問屋町2丁目18番18号 〒030-0131 TEL(017)738-4141 FAX(017)738-5354 URL:http://www.sunpot.co.jp/

水温はいつも新鮮! 水/熱/冷

大青工業株式会社

http://www.taiseiaomori.co.jp

- 設計施工
●水温システム
●凍結・冷蔵設備
●野菜・予冷設備
(真空/差圧強制冷却)
●真空凍結乾燥設備
●廃熱回収装置
●C/A設備 ●自動製氷設備
●衛生・給排水設備 ●空調設備

本社 〒030-0131 青森市問屋町一丁目9番30号 ☎ 017(738)2131 FAX 017(738)9333 E-mail: info@taiseiaomori.co.jp

八戸営業所 〒039-1165 八戸市石堂三丁目9番13号 ☎ 0178(20)1561 FAX 0178(20)1562



問屋町たんしん

①白神山ハイキング
日時 10月19日(日)
午前8時～午後4時
場所 白神山(暗門の滝)
参加料 大人3,000円 小人1,500円

②第2回問屋町ハロウィンパーティー
日時 10月24日(金)
午後7時～午後9時
場所 青森国際ホテル
参加料 大人2,100円 小人1,000円



昨年のハロウィンパーティーの様子

業務報告

主要事項

8月
5日▽第2回問屋町従業員モニター会議

- ▽問屋町経営同友会第2回役員会
6日▽第1回防犯カメラ設置検討特別委員会
8日▽第1回税務研修会
15日▽第1回防犯カメラ設置検討小委員会
19日▽第9回景観推進管理委員会
20日▽元気都市あおもり健康アップ推進会議第2回職域健康づくり部会
22日▽第5回理事会
24日▽第2回問屋町緑のボランティアアレー
26日▽組合員昼食会
▽安協問屋町支部第2回街頭指導
28日▽第5回合同清掃

▽第2回問屋町防災訓練
29日▽東北卸商業団地連絡協議会移動幹事会

問屋町
ビジネススクール：
28日▽ビジネスマナー研修(ビジネス文書編)

8月号の訂正について
卸センターニュース8月号の内容に誤りがございました。謹んでお詫びし、訂正いたします。

P4「新役員に聞く！」
(株)青森新生活互助会
代表取締役社長↓会長
石田 憲久氏

『経済雑感』シリーズ第31弾は、問屋町ビジネススクールの講師である平山氏にご寄稿いただいた。

経済雑感

第八十一回
問屋町ビジネススクール
講師 平山 良雄

「効能と副作用」

現在、ピロリ菌の除菌療法を受けております。6年半前にコイツのせいもあって胃がんを発病し、内視鏡による摘出手術を受けたのですが、今回保険が適用になつたこともあり退治に乗り出したわけです。療法は毎朝、夕に3種類のクスリを5剤、7日間飲むだけなのですが、この間は「NONアルコール」ということで結構ストレスになり弱りました。



問屋町ビジネススクール講師
流通コンサルタント
平山 良雄氏

どんなクスリでも副作用があるわけで、このクスリもピロリ菌の退治に効能がある反面「軟便、下痢」「アレルギー反応」などの副作用があらわれることがあるという。私も少し心配したのですが、全く無く、むしろ生来の「ゆるめのおなか」がしっかりと戻ってしまったからおかしくありません。

さて、昨年からは私は当センターのビジネススクールの講師を仰せつかっておりますが、「本来、従業員は育つようにできている」というのが私の持論でありまして。しかし実際はうまくいっていない企業が多いのが現実組織が業務を進めていく際の原則として「三面等価の原則」があります。

『組織を構成する人材には仕事を遂行するために必ず責任が課せられます。そして、責任を果たすために職務に合った権限が与えられます。この場合、責任と権限は等価の関係にあることが好ましく、責任の度合いが大きくなるにつれて、権限も大きくなるべきです。』

「組織を構成する人材には仕事を遂行するために必ず責任が課せられます。そして、責任を果たすために職務に合った権限が与えられます。この場合、責任と権限は等価の関係にあることが好ましく、責任の度合いが大きくなるにつれて、権限も大きくなるべきです。』

鴨沢塗料株式会社 青森支店

日本ペイント特約店

- 主要品目
塗料全般、塗料資材、塗装機、接着剤、各種テープ、溶剤類、他

青森支店 青森市問屋町一丁目12-4 TEL(017)738-1771(代) E-MAIL: aomori@kamosawa.co.jp FAX(017)738-1772

「飲んで運転、お茶なら安全」

美容と健康にもおいしいお茶を



お茶・海苔 株式会社 宇治園

本社 〒060-0032 札幌市中央区北2条東10丁目 TEL 011-241-5200
青森支店 〒030-0131 青森市問屋町2丁目12-25 TEL 017-738-4811 FAX 017-738-4946

(有)ファイナンシャル・サポート

青森市第二問屋町3丁目3-31
TEL 017-739-6538
FAX 017-762-2357

特定非営利活動法人 ラ・シャリテ
(株)MT・Community



株式会社 小山商会 青森出張所

営業種目
総合寝具リース
病院用寝具
ホテル内メンテナンス
フードサービス
青森市問屋町一丁目14-5
TEL(017)728-5680 FAX(017)728-5681
本社 仙台市青葉区花京院二丁目2番75号(小山ビル)
TEL 022(265)9701(代) FAX 022(265)7615
支店 仙台・東京・名古屋・大阪
営業所 札幌・青森・盛岡・郡山・北関東・筑波
千葉・静岡・京都・岡山・福岡
工場 本社・札幌・関東・静岡・中部・関西

あおもり藍などについて紹介
組合員説明会

組合員等の商品やサービスの紹介を行う組合員昼食会が、8月26日(火)に問屋町会館で開催され、組合員ら44名が参加した。

はじめに、青森県企画調整課総合政策推進グループの東統括主幹が、青森県の基本計画「未来を変える挑戦」について、2014プロモーション編と補足資料をもとに説明を行った。

現在、青森県では2030年を目標に、世界が認める「青森ブランド」の確立に向けて、「買ってよし」「訪れてよし」「住んでよし」を目指し活動を続けている。同活動では、攻めの農林水



組合員昼食会

産業による取引額の増加やライフイノベーション戦略(プロテオグリカン等)による製品出荷額の増加、人材の育成とネットワーク化などの効果が上がっている。また、津軽海峡交流圏の形成(ラムダプロジェクト)、グローバル物流拠点、エネルギー関連施設の集積などの可能性も期待されている。

続いて組合員の(株)青森豊成の工藤社長が、宇宙に飛んだ青森の「藍」について紹介した。工藤社長が副理事長を務めるあおもり藍産業協会は、平成15年に青森豊成を含む4社の研究会からスタートし、平成18年に協同組合を設立。それぞれの技術を集結し、パウダース式の染め方や染色濃度を数値化するなどの技術を確立。従来の20分の1のスピードでの商品化を可能とした。同製品で作られたポロシャツが平成22年にスペースシャトル搭載品へ採用されたことにより一気に人気に火が付き、平成25年には地域資源活用事業計画認定を機に、「i・F ORESTBLUE's」として組合の独自ブランドを確立した。



「あおもり藍」製品

現在、「あおもり藍」を使用した商品が三越伊勢丹新宿店にて販売されているほか、国内外の50を超える著名ブランドからも引き合いがあり、高い注目を浴びている。工藤社長は「モノづくりは「思い」が大切。それぞれのいいモノを作りたいという「思い」を集結させることができ、ここまで来ることができた」とまとめた。

新役員に聞く!

新役員に聞く4人目は、監事に就任した株式会社伸和産業の太田社長にお話を伺った。

同社は昭和48年4月に古紙の卸売問屋として弘前に設立。現在では弘前に加え、青森、つがる、秋田県北に営業所を設け、古紙の回収・買取・卸売を行っている。

「リサイクル関連法ができてからは古紙の回収率は上昇しているが、古紙の価格は需給動向などの影響で変動が激しい。紙の原料の7割近くが古紙となっており現状の中、放つて置けばゴミとなってしまうその役割を果たし終えた

古紙を、市況に関わらずきちんと回収し、製紙工場に繋いでいくのが我々の仕事。当社は製紙会社からも地域からも当てるにされることを目指している。社員には「仕事を通してお客様に当てるにされるようになれ」と言っている」と現状や目標を話してくれた。

「現在68人の当社社員には、視野を広げ持つて欲しいと考へ外部研修への参加も増やしている。弘前では毎月一回自動車教習所で、時には自社トラックを持ち込んで、座学・実地・ワークシヨップ形式で交通安全・運転技能向上のための定例研修会を行っている。ワークシヨップでは、新人も先輩も同じテーマで話し合

い発表し合うことに力点を置いている。このような取り組みで、通常の仕事プラスαを得ることができればと思っている」と社員教育にも熱心な姿を見せた。問屋町の印象について尋ねると、「団地内の取り組みは非常に勉強になる。少し変える当社でも応用できることが多い。その一つではあるが、来年から会社敷地内に花を植えようと思



(株)伸和産業 代表取締役社長 太田 雄三

と語り合ってきた。新役員としての抱負を伺うと

「新入社員と同じ立場なので、まずは雰囲気を感じることに。組合が何をしてくれるかではなく、組合のために何ができるのかという角度から、役員会やいろいろな事業に率先して出席し、経験を積んでいけたらと思う。今まで以上に一生懸命頑張っていきたい」と力強く答えた。

「健康のため、食べ過ぎない、飲み過ぎない、よく寝ることに気を付けている。歩こうとも思っているんですけどね」と苦笑い。読書好きな太田社長おすすめの本は「紙つなげ!彼らが本の紙を造っている。」(56歳)

編集後記

例年8月は記事に苦勞する月なのですが、今年には「防災訓練」「ストア木曜市」「リサイクル品回収BOX」「青森県・未来を変える挑戦」「あおもり藍紹介」等多彩でした。最近マスコミで青森県のイノベーションとしてよく取り上げられるのが、組合員・(株)角弘さんの「プリテオグリカン」と「あおもり藍」です。この「あおもり藍」基本技術を開発したのが組合員の(株)青森豊成さん。今回昼食会で紹介しました。わが組合に青森県の両ブランドがあるということは素晴らしいことです。転話題。先号に続き「問屋町の変化とレスポンス」についてです。先号で1992年から2013年の二〇年で消費財卸組合員が30%減少、生産財卸組合員は六〇社から五五社と微減となったことをお伝えしました。その減少分に大きく対応したのが、卸以外の三四社増と賃貸組合員の三四社増です。その加入の要因・背景は何だったのでしょうか。パレルではないとしても、組合からの積極的レスポンスであったと思われれます。それが重点的の事業として①高度化学事業②景観事業③環境事業のレスポンス三本柱であり、そして教育・情報事業の①ビジネス・スクール②ホーム・ページなどの情報事業③団地内交流活動などのブランディングであり、最後が組合経営管理のための「管理会計の重視」や「事業別会計の黒字化の徹底」などのレスポンスです。(藤本)

創業から131年、カクヒロはお客様に愛され続けています。

カクヒロ PG-in Apple Vinegar PG-in りんご酢 青森の自然に育まれた美味しさをお届けします

PG(プロテオグリカン)とは りんご酢について 美味しさのひみつ
まずはサケの[ココ]に注目。サケの鼻の軟骨成分です。 [PG-in りんご酢] それは飲むタイプのりんご酢です。 糖質研究の先進地 と の ふるさと[あおもり]だから...

株式会社 角弘 〒030-8543 青森市新町二丁目5番1号 TEL.017-723-2222 FAX.017-723-2224 ホームページアドレス http://www.kakuhiro.co.jp
プロテオグリカン研究所 〒030-0113 青森市第二問屋町三丁目10番10号 TEL.017-729-8814 FAX.017-729-8874 ホームページアドレス http://www.pg-in.com



あおもりのお土産に... 贈り物に...